

HL7 Jan WGM 報告 Lake Las Vegas

日本HL7協会会長
浜松医科大学医療情報部
木村通男

- 12支部の参加。アジアからは小生のみ、台湾はネットが入っていた。
- WGMでここだけ、初めてハイブリッドで行われた。
- HL7 International Board Report, Chuck Jaffeから
 - Global Policy Support Taskforceを設立して拡大する状況に対応すること
 - 新任のBoard memberの紹介
 - 5M\$のアメリカ政府からの援助がFHIRに今年あること
 - FHIR Foundationが組織、規約の改定が進んでいること(とくに歳入庁からの指摘に基づき)
- が、報告された。

- HL7 International CEO Report (10 mins)
 - 280以上のImplementation GuideがIG auto build infraで作成された。
 - コネクタソンは32トラックで実施されている。
- HL7 International CSIO Report (10 mins)
 - Diegoのブラジル、アルゼンチン、チリツアアの報告。ともに役人との会合、FHIR コネクタソンが行われた。
 - CathalineのJICの報告、添付のスライドにあるように、IPSについて、ISOが主導、JICが主導、について決着がついていない。

- Regional Reports (30 min)
 - HL7 Europe
 - Catharineからの報告、ブリュッセルの新しい事務所。
 - HL7 Latam
 - Diegoからの報告ペルーが6か国目として参加予定。
 - HL7 Asia
 - 小生から台湾、シンガポール、韓国、日本の簡単な報告と、日本でのIPS連携の見通しの報告

- Diegoからの依頼で、ポッドキャストの収録を1時間行った。
- 他には7人くらいとのこと。選んだ話題は；
 - 標準化に取り組みだした動機は？
 - 成功と失敗のエピソードを
 - Big data, Population healthへの対応の展望
 - CoVID-19対応での様子と対応
 - 言語のバリアをどう超える

- 3 year planで、International patient data accessというものをアメリカ政府に提案することが話題となっていた。

- 20人、16支部が出席。
- 2024-25 Affiliate Agreement (60 mins)
 - 2023は2020の再更新であるが、2024からまた変更、特に FHIR Implementation guideの権利についての議論が盛ん
- Structure of financial support from International Council (45 min)
 - 現在は国際支部にフリーハンドが毎年15000USDある。これを増額要求する、そのための理由を議論。基本は各支部、各地区の会合の支援。
- CORE vs Base Line definitions - FHIR (15 mins)
 - この二つの定義は皆さんバラバラ。
- International Patient Summary Update
 - ISO札幌での現状を含んでの報告。



Ed's 88th Birthday

Michio Kimura, MD, PhD, FACMI, FHL7, MSCJ,, Hamamatsu University